



The Supporters Times

サポーターズタイムズ



衆議院議員 秋葉賢也 政策・活動レポート

中小企業再建を急ぐために!!



22歳。これは誰かの年齢ではなく昨年倒産した企業の平均寿命です。かつて企業の寿命は30年といわれたものですが、この数年を見る限り、20歳を越えると大病を患い、あえなく臨終というケースが増加しています。業歴10年未満の倒産も増えており、昨年は倒産件数全体の23%が10歳以下で、年々その構成比が上昇しています。

宮城県も同様の傾向に加えて、この大震災の影響で、すでに廃業を表明している企業が1000社近い現況です。沿岸部の被害甚大地域では2社に1社が営業不能という異常事態が続いています。

こうした地元企業の実態は、直ちに雇用の悪化に直結しています。震災以降、失業手当の受給手続きをした人は全体で11万人を超えましたが、約半数の5万人を占めているのが実は宮城県なのです。新規の求人倍率も宮城県は0.64倍で被災3県の中で最悪の数字です。

これまで政府は、中小企業への施設・設備の復旧に対する融資制度の新設や被災者の雇い入れ助成金(1人90万円)の支給など中小企業対策を講じてきましたが、これらは従来の政策の延長線に過ぎません。被災地の着実な復旧・復興こそが最大の雇用対策であることはいまでもありません。そのためには、これまでにやったことのないような大胆な中小企業対策を実施していく以外にないのです。

その具体的な柱は中小企業の『二重ローン救済法案』です。多くの企業が①「融資ではなく補助金を」、あるいは再建への足かせになっている②「旧債権の買上」を求めています。①は複数の企業がグループで再建に取り組む場合には、補助金支給の対象にしました。しかし②は依然として実現していません。

政府は被災3県にそれぞれ「産業復興機構」を創設し、中小企業の二重ローン対策として、旧債権を買取る方針です。宮城県でも近く設置されます。その中心になるのは政府の中小企業基盤整備機構ですが、実は、買取りの規模が小さく(宮城県分で五百億円程度)、リース分が対象外であったり、原則的に法人に限られるなど極めて制約的な内容になっています。これでは焼け石に水であり、中小企業のニーズを十分満たすことはできません。

だからこそ自民党では、本格的な中小企業再建のために二重ローン救済法案として「(株)東日本大震災事業者再生支援機構設置法案」を議員立法しました。二兆円規模の資金を入れて、個人事業者や農家も対象に旧債権を買上げます。先の通常国会では参議院で成立しましたが衆議院では審議入りさえ叶いませんでした。この臨時国会では何としても成立させねばなりません。短期で臨時国会を終らせようとする民主党政権の姿勢は言語道断であり許されないことです。今急務なのは、国民ニーズに即応した政策の実施です。

衆議院議員
自由民主党副幹事長

秋葉賢也

Kenya Active Reports in 通常国会

「東京電力福島原子力発電所事故調査委員会」の国会内設置を強く提言!



△ 外務委員会で参考人質疑に立つ秋葉代議士

8月末まで続いた第177回通常会中に、秋葉代議士が委員会質疑等に立った回数は、**総計20回**近くを数えました。8月末に開催された外務委員会の参考人質疑でも、独自の切り口から、秋葉代議士は議題にアプローチしています。

国際原子力協定締結のあり方を問う!

秋葉委員

- 福島第一原子力発電所の事故を受け、日本では、少なくとも、減原発の方向にかじが切れつつある。
- 日本から海外(ヨルダン)へ日本の原子力技術を輸出してゆくための国際協定の締結を進める前に、わが国の原子力発電所の安全確保・向上のための取り組みをしっかりとめるべきではないか。

「事故調査・検証委員会」の国会内に設置! ~原発管理の客観性と透明性の確保を~

秋葉委員

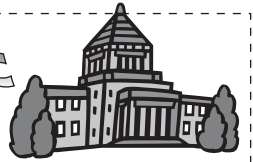
- 原子力行政に関する国民の不信は、政府が提供する情報に対する国民の不信だ。
- こうした不信を取り除くためには、政府内に設置された委員会による調査検証ではなく、政府から独立した「事故調査・検証委員会」を国会に設置し、原子力平和利用に関する情報の客観性・透明性を担保する必要がある。

~龍馬の言葉から学ぶ~ 「あるべき政治の姿」

「アメリカでは、大統領が、下女の暮らし立つように考えて政治をやる。徳川幕府は徳川家の繁栄のみを考えて、三千万人の人間を押さえてきた。幕府幕下の諸大名しかり。藩の都合だけで政治をする。いったい、日本人はどこにいるのか。日本人は、三百年、低い身分にしばられ、なんの政治の恩恵も受けていない。この一事だけでも、徳川幕府は倒さなければなりませんよ。」(龍馬が桂小五郎に発した言葉)



通常国会で成立した 議員立法



第177国会で、自民党が提出した議案数は、**44件!**両院を通過し成立した比率(成立率)は**61.4%**に上ります。**震災関連の重要法案の殆どは、自民党が提出した議員立法がベース**となって成立しました。

①復興再生基本法

☆復興計画を一元的に管轄する「復興庁」設置
⇒ **秋葉代議士は、更に、復興庁の「仙台」への設置を強く提言しています。**

☆特例「復興債」の発行

②津波対策基本法

☆津波被害を防止・軽減する為の観測体制強化
☆津波に配慮した町づくり(インフラ整備等)
☆津波防災の日(11月5日)の創設。

③原子力事故被害緊急措置法

☆国が福島第一原発に伴う賠償金の半分以上を立替えることで、被害者への賠償を迅速化する。

④災害廃棄物処理特別措置法

☆東日本大震災によるがれき処理に要した費用の全額を国が負担する。

秋葉代議士が提出した 質問主意書(質問名)一覧

- ★災害時の指定避難所の防災備品等に関する質問
- ★性犯罪前歴者に対するGPS着用の義務化に関する質問(★同再質問)
- ★わが国政府の情報保全の在り方に関する質問
- ★尖閣諸島の実効支配に向けた政府の取組みに関する質問
- ★外国による我が国領空、領海及び領土の侵犯に関する質問
- ★東日本大震災により被災した民間医療機関への公的支援に関する質問主意書
- ★鉄道建設・運輸施設整備支援機構の余剰と基礎年金の財源についての質問
- ★巡視船の損害賠償に関する質問
- ★我が国における海事産業の国際競争力強化のためのトン数税制拡充に関する質問主意書
- ★東日本大震災におけるみなし仮設住宅の契約手続に関する質問
- ★東日本大震災により被災した民間医療機関への公的支援に関する質問主意書

詳細は、「衆議院」ホームページ⇒「立法情報ネットワークシステム」⇒「質問答弁情報」⇒「提出回次別一覧」⇒「第177回」にアクセスしてご覧頂けます!!

臨時国会がスタート!



9月13日、野田新政権の下で臨時国会が召集されました。野田政権は当初、4日間で終わらせようとしたのですが、これでは何ら法案審議ができないために、大幅な会期延長を強く求めました。結果、「15日間の会期延長」になりましたが、本来ならば、年末まで、十分な法案審議を尽くすべきです!

全力投球 第三次補正予算

- ⇒政府は総額2兆円の第二次補正予算を閣議決定しましたが、東日本大震災の復旧・復興に必要な予算措置は、結局先送りされた形となりました。
- ⇒自民党は、総額17兆円規模の第三次補正予算案を対案として政府に提出し、復旧・復興に向けた大規模な財政支出により日本経済の回復を図ります!【例。☆がれき処理や被災地のインフラ整備等の復旧対策⇒2.6兆円 ☆原発事故対応⇒1.6兆円】

～ひと口メモ～
「え?民主党政権でも財政の肥大化が進んでいる?…」

今年度の第一次、第二次補正予算は併せて6兆円。当初の予算歳出規模が92.4兆円、既に98.4兆円になって、これに第三次補正予算を加えると、今年度の(決算ベース)予算規模は100兆円を上回ります。2008年度(民主党政権)は84兆円でしたが、2009年度には100兆円、2010年度は95兆円。予算面で、民主党政権が財政の肥大化を加速させていることを否定できません。

全力投球 復興庁設置法案

- ⇒前国会成立の「復興基本法」に続き、「復興庁」設置法案の成立をめざします。秋葉代議士は、「復興庁」を仙台に設置するよう提言しています。

全力投球 二重ローン救済法案

- ⇒中小企業のみならず、中堅事業者、個人事業者、農林水産業者、社会福祉・医療法人も救済対象とする法律が必要です(自民党案では、これらの方々も救済の適用を受けられます)。
- ⇒東日本大震災による二重ローン問題から被災事業者を救済するために、政府案の「産業復興機構」ではなく、「(株)東日本大震災事業者再生支援機構」を立法により新設し、二重ローン問題の効果的な解決(旧債権の買上)を図ります。
- ⇒2兆円規模の債権買取を行います。

全力投球 東京電力福島原子力発電所事故調査委員会法案

- ⇒福島第一原子力発電所の事故調査を経産省にある「保安院」が行う現行のシステムでは、原子力発電に対する十分な規制は期待できません。
- ⇒原子力発電の安全性と情報の透明性を確保するために、経産省から独立した「東京電力福島原子力発電所事故調査」を国会に設置し、原子力発電の安全性を客観的に担保することが必要です(自民党案では、調査委員会の国会内設置が盛り込まれています)。

全力投球 私立学校・専門学校復旧事業特別法案

- ⇒本法律案により私立学校等の建物等の災害復旧に限定した助成措置等を規定。
- ⇒国庫補助のかさ上げや補助の創設によって、これまで2分の1であった補助率を3分の2にかさ上げします。

【活動ブログ】 www.akiba21.net 【ツイッター】 @akibakenya 更新中! 秋葉賢也 検索

サロン・ド・リーフのご案内 (秋葉賢也を応援する女性の会) ～フェルメール展 鑑賞会のお誘い～

日時：11月28日(月)
午前 10:00 スタート!
場所：宮城県美術館(青葉区川内元支倉34-1)
(集合場所：同美術館入り口前)
会費：3,000円(入場料+昼食代)



By Vermeer "Woman with water jug"

画家 中川先生と一緒に
(サロン・ド・リーフ会長)
心温まるひと時を過ごしませんか。

11月7日(月)迄、
秋葉けんや仙台事務所
Tel 022-375-4477に
お申込み下さい。

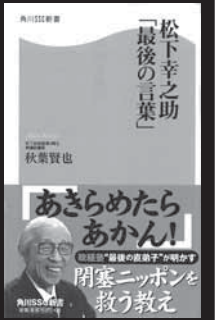
タウンミーティング(国政報告会) 代議士を囲んで意見交換をしてみませんか

10月22日(土) 泉区
19時 @イズミティ21 会議室
10月28日(金) 宮城野区
19時 @高砂市民センター
10月29日(土) 若林区
19時 @若林区文化センター



3月以降も順調にご購読いただき
心より感謝申し上げます。
全国主要書店で好評発売中!

松下幸之助『最後の言葉』
秋葉賢也著(角川SSC新書)定価760円



仮設階段の早期設置を!

仙台東部道路は、東日本大震災の津波被害をうけた中で被害を免れた数少ない高台です。5月時点で、まだ舗装されていなかったコンクリート階段が、9月中旬に設置されました。現時点で5箇所しか設置していない仮設階段の早期設置を実現します!



丸森町立大内中学校の皆さんと懇談

来年、廃校が決定している大内中学校。丸森町出身の秋葉代議士は、今回が同校の最後の修学旅行となる旨を伺い寂しさを憶えたと述べていましたが、明るい笑顔の生徒さんにお会いして、パワーを頂いたように見えました。



六郷地区にあるニッペリア内の仮設住宅を訪問

六郷地区にあるニッペリアという施設内にある仮設住宅を訪問し、皆さんから貴重なお話を伺いました。今回の訪問で秋葉代議士が気になったのは、仮設住宅間の通路が砂利敷きであったこと。特に、年配者の方々が砂利でつまづいたり、買い物カートを引くことができない等問題は、明らかでした。そのため、秋葉代議士は、**国庫負担の対象**となる仮設住宅周辺の**簡易舗装の対象として通路間のゴム敷**を提言しています。



「みやぎ夢燈火2011」が開催されました!

9月10日に南中山小学校の校庭で開催された「みやぎ夢燈火2011」に参加致しました。

*「みやぎ夢燈火」は「大阪教育付属大学池田小児童殺傷事件」を受け、世界の子どもたちの平和と安全を願う心を発信する為に設立された「いけだ夢燈火」の趣旨に賛同する宮城県立光明養護学校教員の呼びかけにより仙台市で展開され、2006年宮城県で発足された活動です。

今年は、東日本大震災の被災者の皆様へ「祈り、希望そして明日」を届ける為にともされた2011本の蠟燭の灯が仙台の街を優しく包み込むように見えました。

秋葉代議士はいつだって現地現場主義!

～ kenya's PLOFILE ～



- 昭和37年7月3日宮城県生まれ、49才。
- 角田高校を経て、中央大学法学部卒業、東北大学大学院法学研究科博士課程前期修了。
- 勲松下政経塾卒塾(第9期生 宮城県初)を経て、宮城県議会議員(三期)を務める。
- 総務大臣政務官などを経て、現在、衆議院議員(三期目)。自民党副幹事長(二回目)。
- 衆議院外務委員会理事、沖繩及び北方問題特別委員会筆頭理事、災害対策特別委員会委員、東日本大震災復興特別委員会委員、党外交部会長代理、情報調査局次長、ネットメディア局次長などを務める。
- 著書:『松下幸之助「最後の言葉」』(角川SSC新書)、『地方議会における議員立法』(文芸社)、『東北の夢創造』(ぎょうせい)。
- 趣味:スポーツ・音楽・映画。 ● 特技:書道三段・空手初段。
- 尊敬する人:松下幸之助・マザーテレサ。

秋葉賢也事務所
www.akiba21.net
仙台市泉区上谷刈4-17-16
Tel 022(375)4477
Fax 022(375)0057
購読料 年額6,000円
編集 輪アクトジャパン